

環境生命自然科学研究科 博士前期課程
プロジェクト・マネジメント実習科目
単位認定申請フロー

このフローは環境生命自然科学研究科 博士前期課程 選択必修科目「プロジェクト・マネジメント実習科目」の単位認定申請の流れを、学生向けに説明するために作成しました。
単位認定申請にあたっては、必ず指導教員の指導を受けるようにしてください。

●プロジェクト・マネジメント実習科目の種類

▼単位認定申請により単位を修得するため、このフローの対象となります

▼授業科目履修により単位を修得するため、このフローの対象となりません

授業科目名	単位数	概要	授業科目名	単位数
インターンシップ (短期)	1	国内外の企業や省庁・公的機関でのインターンシップ	探究型教育実践実習	1
インターンシップ (長期)	2	国内外の企業や省庁・公的機関でのインターンシップ	ソフトウェア開発実習	1
学会発表型実習	1	国内外での学会発表	データサイエンス実習	1
海外学修 (短期)	1	短期間の訪問型留学	土木プラクティス I	1
海外学修 (長期)	2	長期間の滞在型留学	Architecture Workshop A	1
実践実習 (短期)	1	研究室の枠を越えた他の組織での実習		
実践実習 (長期)	2	研究室の枠を越えた他の組織での実習		

学務情報システムにより履修登録を行い、授業を履修することにより、単位を修得してください。

●各授業科目の対象・必要な時間数

授業科目名	単位数	対象とする学会・実践的活動等	必要な時間数等
インターンシップ (短期)	1	指導教員の指導の下、国内外の大学・研究所等の研究機関、または企業・団体等における実践的活動で、研究機関、企業・団体等における受入れ担当者の監督下で行われた活動時間とする。	指導教員による事前指導及び事前準備、事後報告等の時間を含め、「(短期)」は45時間の学修をもって1単位、「(長期)」は90時間の学修をもって2単位とすることを基準とする。 なお、学修時間に対する、指導教員の指導の下での国内外の大学・研究所等の研究機関、または企業・団体等における実践的活動で、本学指導教員及び研究機関、企業・団体等における受入れ担当者の監督下で行われた活動時間の割合は、学修時間の3分の2程度を目安とする。
インターンシップ (長期)	2		
学会発表型実習	1	学生所属コースが適切と認め、国内外で開催される学会とし、会期の長さ、開催地、主催者及び規模は考慮しない。	指導教員による事前指導及び事前準備、事後報告等の時間を含め、45時間の学修をもって1単位とすることを基準とする。 単位認定の対象とする学会発表は、以下の基準に基づくものとする。 1. 口頭発表及びポスター発表のいずれも対象とする。 2. 単独発表・連名発表を問わず、学生本人が発表した場合に限る。
海外学修 (短期)	1	指導教員の指導の下で参加した海外留学を対象とする。	指導教員による事前指導及び事前準備、事後報告等の時間を含め、「(短期)」は45時間の学修をもって1単位、「(長期)」は90時間の学修をもって2単位とすることを基準とする。
海外学修 (長期)	2		
実践実習 (短期)	1	指導教員の指導の下で行った、研究室の枠を越えた他の組織での実習とする。	指導教員による事前指導及び事前準備、事後報告等の時間を含め、「(短期)」は45時間の学修をもって1単位、「(長期)」は90時間の学修をもって2単位とすることを基準とする。
実践実習 (長期)	2		

※異なる授業科目にあたる活動を合算し、1つの授業科目として単位認定することはできない。

環境生命自然科学研究科 博士前期課程

プロジェクト・マネジメント実習科目 単位認定申請フロー

このフローは環境生命自然科学研究科 博士前期課程 選択必修科目「プロジェクト・マネジメント実習科目」の単位認定申請の流れを、学生向けに説明するために作成しました。
単位認定申請にあたっては、必ず指導教員の指導を受けるようにしてください。

●単位認定申請の流れ

(1) 指導教員の事前指導を受ける・事前準備をする

申請予定の授業科目、実施時期、実施内容等について、指導教員と相談し、事前指導を受ける。
単位申請にあたって必要な添付書類についても、併せて確認する。

(2) 実践的活動を実施する

(3) 指導教員の事後指導を受ける

(4) 単位認定を申請する

単位認定申請書に、学会等での発表、または研究機関、企業・団体等における実践的活動を確認できる証拠書類を添え、単位認定を申請する。

【提出先】 指導教員

【提出期限】 前期の単位に算入希望：6月第3金曜日まで
後期の単位に算入希望：12月第3金曜日まで

【申請書類】 https://www.elst.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2_mc_shinsei.docx
(記入例) https://www.elst.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2_mc_shinsei_example.pdf

コース・学位プログラムにおける確認・審議

コース・学位プログラムにおける確認・審議がなされ、コースから所掌の事務へ単位認定結果が報告される。

所掌の事務において成績登録

前期の単位として認定されたものは前期開講科目の成績入力期限（8月下旬）までに、
後期の単位として認定されたものは後期開講科目の成績入力期限（2月下旬）までに認定結果が反映される。

(5) 申請した単位認定の結果を確認する

成績公開日以降に、学務情報システムより単位認定結果を確認してください。

●よくある質問

Q：単位認定申請書に添付する根拠書類はどのようなものを用意すればいいですか。

A：「インターンシップ」では誓約書や受入担当者発行書、

「学会発表型実習」では学会の要旨集やネームプレート、

「海外学修」「実践実習」では成績証明書や受入通知書を想定していますが、

事前指導を受ける際、指導教員にご相談ください。

なお、指導教員の指導により、受入担当者発行書を添付する必要がある場合は、以下の様式例を使用いただいてもかまいません。

(様式例) https://www.elst.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/11/4_houkokusyo.docx

Q：いつ実施した実践的活動が対象となりますか。

A：申請学生が**当該課程に在学中に開催された**学会での発表、

または研究機関、企業・団体等における実践的活動を対象とします。